

- 北九キッズスポーツマンズプロジェクト事業 3,094千円
子どもたちに多くのスポーツを体験してもらうための集中月間(北九キッズスポーツマンズ)を設定し、子ども向け体験会型スポーツイベントを開催する等、子どもたちがスポーツを始めやすい機会の充実を図った。
- ギラヴァンツ北九州支援事業 35,000千円
本市のシンボルチーム「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助した。
- ホームタウン推進事業 50,045千円
市民の「みる」スポーツの機会の創出やスポーツによるにぎわいづくりを図るとともに、体験教室等の開催を通じて、市が支援するトップスポーツチームが地域に愛されるチームとなるよう、ホームタウン活動を推進した。
- ⑨「ワールドスケートボードツアーストリート2025北九州」開催事業 200,000千円
世界最高峰のスケートボードの国際大会「ワールドスケートボードストリート2025北九州-グランドファイナル-」の開催を支援した。
- ⑩いつでも誰でもスポーツAction事業 33,836千円
大規模国際スポーツ大会を積極的に誘致するため、エコフレンドリーな大会運営ができる受入体制を整備した。あわせて、本市独自のサポート体制やブランディングを強力に発信するとともに、インクルーシブスポーツの推進を通じて、誰もがスポーツに親しめる環境づくりに取り組んだ。
- 北九州マラソン開催事業 74,387千円
本市の魅力を全国に発信するとともに、スポーツによるまちのにぎわいづくりやスポーツの振興などを目的に「北九州マラソン2026」を開催した。
- ⑪新門司グラウンドのスポーツ交流拠点整備支援に向けた基金積立 97,600千円
ギラヴァンツ北九州が建設するクラブハウス内における、市民のスポーツ交流拠点整備に向けた支援のため、企業版ふるさと寄附金を活用し、基金に積み立てを行った。

○ 北九州国際映画祭関連事業 24,403千円

第3回北九州国際映画祭において全世界を対象としたショートフィルム・コンペティションを初開催するなど、国際映画祭としての基盤強化を図るとともに、新たに「北九州ムービーアカデミー」を立ち上げ、次世代を担う映画人材の育成強化にも取り組んだ。

(2)エンターテインメントによるにぎわいづくり

○ エンターテインメントによるにぎわいづくり推進事業 14,899千円

全国的に知名度の高い「二十歳の記念式典」にエンターテインメント要素を付加することで、「日本一若者を応援するまち・北九州市」を全国に発信した。

○ 映像製作誘致強化関連事業 12,124千円

北九州市の都市イメージ向上と交流人口の拡大等による地域経済の活性化等を図るため、国内外の映画・テレビドラマなどの撮影の誘致、支援等に積極的に取り組んだ。

○ ⑧クールジャパンコンテンツ推進事業 8,258千円

メディア芸術の振興に向けて、北九州市に誕生したアニメ制作会社と連携した人材育成をはじめ、多様なコンテンツによるにぎわいづくりに取り組んだ。

このような長年の取組が評価され、国の「コンテンツ地方創生拠点」の第一弾として選定を受けた。

○ MICE誘致推進強化事業 82,327千円

MICE開催を通じて海外から企業・大学などの主要な研究者等、次世代の人材を多く集め、北九州市の知名度向上を図るとともに、集まった人を市内へ送り出す地域経済の活性化に資する取組みを強化した。

○ 「ポップカルチャーのまち北九州」推進事業 30,780千円

本市の都心集客の拠点となるJR小倉駅新幹線口を中心に、漫画・アニメ・ゲーム等のポップカルチャーによる大型イベント等を開催し、誘客やクリエイター産業の交流を図った。

○ MICE・エンタメを活用した集客促進事業 14,584千円

市外からの来訪者が大半を占めるコンサート等のエンターテインメントや市外からの来訪者が多い展示会を開催することにより、交流人口の創出・拡大による経済の活性化を図った。

(3)観光資源の磨き上げや発信の推進

○ ⑨「すしの都 北九州」ブランド発信事業 14,200千円

「すしの都 北九州市」のイメージ定着に向けた機運の醸成、宿泊とすし等を組み合わせた旅行商品造成、小倉城など市を代表する観光施設でのすしを味わうイベントなどを実施した。

○ ⑩北九州ならではの夜間・早朝コンテンツ造成支援事業 8,990千円

北九州市ならではの魅力的な地域資源(自然、文化、食、スポーツ等)を活用して、日没後から早朝にかけて新たな観光コンテンツ造成に係る経費の一部補助を行った。

○ ⑪インバウンド高付加価値旅行推進事業 34,996千円

海外の富裕層など新たな外国人観光客層を取り込むため、北九州市内の観光コンテンツを磨き上げ、高付加価値ツアーを造成するとともに、ガイドや地域観光事業者の育成等、高付加価値旅行を催行できる受入体制の整備を行った。

○ ⑫KitaQおもてなしキャンペーン事業 8,402千円

大規模イベント来訪者の市内周遊や閑散期の観光誘客を促進するため、北九州市内の飲食店や小売店、観光施設などで割引や特典を受けられるキャンペーンを実施した。

○ ⑬若松北海岸サイクルツーリズム導入実証事業 4,850千円

若松北海岸において、サイクルツーリズムの気運醸成に取り組むとともに、エリアの認知度向上に向けたプロモーションを実施した。

○ ⑭皿倉山観光施設リニューアルに関する調査検討事業 4,774千円

老朽化が進む皿倉山の観光施設において、今後の維持・更新費の削減や、高齢者や障害者等への十分な対応ができる施設、及び皿倉エリアの魅力の飛躍的な向上を目的に、今後の望ましい運営方法について調査を実施した。

- 日本新三大夜景都市ブランドを活用した夜型観光促進事業 15,107千円
「日本新三大夜景都市」全国1位(令和6年、2回連続)の認定を受け、本市の夜型観光をさらに促進させるため、プロモーションを強化するとともに、代表的な夜景鑑賞地である皿倉山頂に光の装飾を施したフォトスポット整備などを実施した。
- インバウンド広域観光ルート促進事業 29,090千円
関西・中国・四国地方の自治体と連携して関西～九州の広域周遊ルート「西のゴールデンルート」を構築するとともに、本市の地理的優位性を活かし、福岡空港・関西空港等から入国する外国人観光客の誘客を推進した。
- インバウンド誘致促進事業 54,336千円
北九州空港・福岡空港に直行便のあるエリアを主なターゲットとして、観光プロモーション(情報発信)や受入環境の整備等を行い、外国人観光客の誘客促進を図った。
- 稼ぐ観光に向けた観光データ活用基盤整備事業 19,009千円
毎年実施・公表している観光動態調査を継続して行うとともに、効果的な観光施策の推進のため、スマートフォンの位置情報などを基にしたイベント・観光スポット等の周遊データの収集および分析を行った。
- SDGs修学旅行サポートセンター運営事業 10,769千円
修学旅行を検討する旅行会社や学校のニーズに一元対応するワンストップ窓口「修学旅行サポートセンター」の運営を通じて、北九州市ならではの高付加価値な修学旅行プログラムの提供や細やかなフォローを実施し、修学旅行の誘致を図った。
- ⑨ 門司港レトロ！30thアニバーサリー事業 28,422千円
門司港レトロを舞台とした小説とのタイアップ企画やナイトシネマ、朝市など、門司港レトロ30周年記念イベントを開催した。
- めぐる！門司港レトロ浪漫創造事業 29,994千円
和布刈地区活性化に向けた調査検討のほか、下関市と連携し、全国的にも知名度の高い関門の歴史を活かした観光コンテンツの開発など、門司港レトロ・関門のポテンシャルを活かした観光誘客の取組を実施した。

「安らぐまち」の実現 ～誰もがつながるアットホームなまち～

1 生活基盤の「安心」を支える

(1) 社会環境やニーズに即した都市基盤・施設の維持

○ ⑨旧九州厚生年金会館改修検討事業 23,980千円

旧九州厚生年金会館は、開館以来約40年以上が経過し、老朽化が進んでいることから、劣化状況や改修が必要となる箇所を把握するための老朽化調査を実施した。

○ 美術館アネックス棟大規模改修工事 43,302千円

築39年が経過し、老朽化した美術館アネックス棟の大規模改修工事にかかる建築工事を着工した(令和9年2月完了予定)。

2 暮らしの「安心」を支える

(1) 誰もが安心して暮らせる環境づくり

○ 体育館(予定避難所)空調設備整備事業 231,732千円

体育館の暑さ対策や、避難所としての環境改善のため、新門司体育館、曾根体育館及び八幡東体育館に空調設備を設置した。

(2) 生涯現役に向けた健康づくりや社会参加の促進

○ 若松体育館改修事業 63,791千円

PCB廃棄物処理事業の継続を受け、若松区を中心とした地域振興策として、若松体育館アリーナ照明のLED化工事等を行った。

令和7年度の主な取組の成果について

「彩りあるまち」の実現 ～輝く個性と楽しさがあふれるまち～

1 彩りある「時」をつくる

(1) 文化芸術やスポーツの振興

区分	事業名	R7決算額 (千円)	実績等	令和6年度	令和7年度
新規	キタキューまちなかアート事業	32,739	イベント参加者の満足度		84.5%
継続	優れた文化・芸術との“出会い”創造事業	6,025	体験授業・訪問コンサートなどの参加者数	6,873人	4,993人
継続	北九州国際音楽祭	33,690	公演件数	23件	23件
			来場者数	7,957人	7,513人
			満足度	99%	98%
継続	芸術文化活性化事業	83,000	公演件数	39件	46件
			来場者数	31,568人	39,147人
			自主事業参加者の満足度	芸術劇場 95.1% 響ホール 97.4%	芸術劇場 90.3% 響ホール 97.3%
継続	芸術文化育成負担金・補助金	34,051	助成団体数	15団体	14団体
			参加者数	72,000人	68,500人
継続	美術館企画展開催事業	89,631	企画展来場者数	104,306人	40,234人
			企画展満足度	89%	93%
新規	いのちのたび博物館ナイトミュージアム推進事業	3,130	ナイトミュージアム来場者数		2,304人
継続	博物館企画展・特別展充実事業	69,013	特別展来場者数	165,404人	122,063人
新規	「北九州の先端技術でカガクする」イベント開催事業	772	イベント来場者数		600人
継続	松本清張記念館普及・研究センター事業	9,477	来場者数	26,692人	26,880人
継続	文学館普及研究事業	14,549	来場者数	20,546人	33,451人
継続	文学館文学賞事業	19,911	応募数		
			・子どもノンフィクション	232編	239編
			・あなたにایتくて	1,025編	816編
			・林芙美子	530編	729編
継続	北九州市漫画ミュージアム普及事業	48,100	来場者数	99,398人	114,670人

区分	事業名	R7決算額 (千円)	実績等	令和6年度	令和7年度
継続	北九キッズスポーツマンズプロジェクト事業	3,094	イベント来場者数	857人	1,318人
継続	ギラヴァンツ北九州支援事業	35,000	ホームゲーム来場者数	88,339人	105,697人
継続	ホームタウン推進事業	50,045	ギラヴァンツ北九州親子招待事業 等参加率	92%	93%
新規	「ワールドスケートボードツアーストリート 2025北九州」開催事業	200,000	来場者数等 (サイドイベント含む)		約14,000人
新規	いつでも誰でもスポーツAction事業	33,836	国際スポーツ大会開催数	6件	4件
継続	北九州マラソン開催事業	74,387	マラソン参加者数	12,110人	12,638人
新規	新門司グラウンドのスポーツ交流拠点整備支 援に向けた基金積立	97,600	寄付金受入企業数		23社
継続	北九州国際映画祭関連事業	24,403	パブリシティ効果	2.4億円	1.3億円
			来場者の満足度	85%	88.6%

(2) エンターテインメントによるにぎわいづくり

区分	事業名	R7決算額 (千円)	実績等	令和6年度	令和7年度
継続	エンターテインメントによるにぎわいづくり 推進事業	14,899	二十歳の記念式典参加者満足度	88%	97%
継続	映像製作誘致強化関連事業	12,124	フィルムコミッション事業による 経済波及効果	120,129千円	158,989千円
新規	クールジャパンコンテンツ推進事業	8,258	クリエイター人材育成事業参加者 数		7人
			eスポーツ振興事業参加者数		146人
継続	M I C E 誘致推進強化事業	82,327	M I C E 開催による経済効果	97億円	122億円
継続	「ポップカルチャーのまち北九州」推進事業	30,780	K P F 参加者数	82,773人	85,395人
継続	M I C E ・エンタメを活用した集客促進事業	14,584	大型イベント開催件数	5件	8件

(3) 観光資源の磨き上げや発信の推進

区分	事業名	R7決算額 (千円)	実績等	令和6年度	令和7年度
新規	「すしの都 北九州」ブランド発信事業	14,200	取組に関するメディア掲出数		216件
			関連イベント・講習会等の参加者数		6,520人
新規	北九州ならではの夜間・早朝コンテンツ造成支援事業	8,990	コンテンツ造成数		6件
新規	インバウンド高付加価値旅行推進事業	34,996	外国人観光客数		集計中 (R8. 秋頃公表予定)
新規	KitaQおもてなしキャンペーン事業	8,402	キャンペーン期間中の参加人数		4,911人
新規	若松北海岸サイクルツーリズム導入実証事業	4,850	貸出サイクル利用者数		453人
新規	皿倉山観光施設リニューアルに関する調査検討事業	4,774	現行施設の維持、新たな移送手段を踏まえ、将来的なリニューアルに向けた検討を実施。		
継続	日本新三大夜景都市ブランドを活用した夜型観光促進事業	15,107	皿倉山ケーブルカー乗客数 (18時以降)	139,886人	174,646人
継続	インバウンド広域観光ルート促進事業	29,090	外国人観光客数	36.7万人	集計中 (R8. 秋頃公表予定)
継続	インバウンド誘致促進事業	54,336	外国人観光客数	36.7万人	集計中 (R8. 秋頃公表予定)
継続	稼ぐ観光に向けた観光データ活用基盤整備事業	19,009	北九州観光データサイト (K T A S) アクセス数	R7. 3.31公開のため データなし	1,584件
継続	SDGs修学旅行サポートセンター運営事業	10,769	修学旅行生数	67,628人	62,077人
新規	門司港レトロ！30thアニバーサリー事業	28,422	門司港レトロ地区観光客数	278.4万人	集計中 (R8. 秋頃公表予定)
継続	めぐる！門司港レトロ浪漫創造事業	29,994	門司港レトロ地区観光客数	278.4万人	集計中 (R8. 秋頃公表予定)

「安らぐまち」の実現 ～誰もがつながるアットホームなまち～

1 生活基盤の「安心」を支える

(1) 社会環境やニーズに即した都市基盤・施設の維持

区分	事業名	R7決算額 (千円)	取組の成果
新規	旧九州厚生年金会館改修検討事業	23,980	旧九州厚生年金会館の今後の方向性を検討するため、施設全体の老朽化調査を実施した。
継続	美術館アネックス棟大規模改修工事	43,302	老朽化した美術館アネックス棟の大規模改修工事に着手。令和9年2月に完了予定。

2 暮らしの「安心」を支える

(1) 誰もが安心して暮らせる環境づくり

区分	事業名	R7決算額 (千円)	取組の成果
継続	体育館（予定避難所）空調設備整備事業	231,732	市立体育館3館（新門司、曾根、八幡東）に空調設備を設置。予定避難所となっている市立体育館全館への設置完了。

(2) 生涯現役に向けた健康づくりや社会参加の促進

区分	事業名	R7決算額 (千円)	取組の成果
継続	若松体育館改修事業	63,791	若松体育館アリーナ照明のLED化工事等を実施。

6 令和8年度 指定管理者の評価結果について

都市ブランド創造局

【次回選定に向けた評価】

	施設名	指定管理者	指定期間	評価結果	頁 (別冊)	担当課
1	黒崎文化ホール、八幡西図書館 ・黒崎ひびしんホール (黒崎文化ホール) ・八幡西図書館	(株) 黒崎コミュニティサービス	平成24年7月1日 ～ 令和9年6月30日	B	1 ～ 17	文化 企画課
2	小倉城・小倉城庭園、勝山公園・あさの汐風公園 ・北九州市小倉城 ・小倉城庭園 ・勝山公園/あさの汐風公園	TEAM城下町小倉共同事業体 ・(一社) まちはチームだ ・(株) 九州造園	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日	A	18 ～ 32	観光課

【中間評価はなし】

【令和6年度以降選定施設】

	施設名	指定管理者	指定期間	評価結果	頁 (別冊)	担当課
3	ウェルとばた ・戸畑市民会館 ・福祉会館	(社福) 北九州市社会福祉協議会	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日	B	33 ～ 48	文化 企画課
4	北九州芸術劇場、響ホール ・J:COM北九州芸術劇場 (北九州芸術劇場) ・響ホール	(公財) 北九州市芸術文化振興財団	令和7年4月1日 ～ 令和10年3月31日	B	49 ～ 68	文化 企画課
5	門司・若松市民会館 ・門司市民会館 ・若松市民会館	共同企業体グループA2K ・朝日建物管理(株)九州支店 ・(株) ケンビ	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日	B	69 ～ 81	文化 企画課
6	大手町練習場	(公財) 北九州市芸術文化振興財団	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日	B	82 ～ 94	文化 企画課
7	旧百三十銀行ギャラリー	株式会社COLT	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日	A	95 ～ 105	文化 企画課

【令和6年度以降選定施設】

施設名		指定管理者	指定期間	評価結果	頁 (別冊)	担当課
8	北九州市国際展示場・会議場 ・北九州メッセ (北九州国際展示場) ・北九州国際会議場	(公財) 北九州観光コンベンション協会	令和7年4月1日 ～ 令和10年3月31日	B	106 ～ 118	MICE・ メディア 芸術課
9	新門司スポーツ施設 ・新門司球技場 ・新門司運動場 ・新門司庭球場	NPO法人 北九州フットボールクラブ	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日	C	119 ～ 131	スポーツ 振興課
10	北九州市民球場・三萩野球場 ・北九州市民球場 ・三萩野球場	北九州野球(株)	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日	B	132 ～ 142	スポーツ 振興課
11	本城・的場池公園内スポーツ施設 ・的場池体育館 ・的場池球場 ・的場池弓道場	(株) スピナ	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日	B	143 ～ 158	スポーツ 振興課
12	東部地域スポーツ施設 ・門司体育館等26施設	北九州スポーツネットワーク共同事業体 ・コナミスポーツ(株) ・日本管財(株)九州本部 ・(株) コアズ 北九州支社 ・(一社) UBUNTU FSP ロモーション	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日	B	159 ～ 175	スポーツ 振興課
13	西部地域スポーツ施設 ・総合体育館等24施設	(公財) 北九州市スポーツ協会	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日	B	176 ～ 194	スポーツ 振興課
14	桃園公園・城山地区スポーツ施設 ・桃園球場 ・桃園運動場 ・桃園庭球場	スピナ・シンコースポーツ共同事業体 ・(株) スピナ ・シンコースポーツ九州(株)	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日	A	195 ～ 214	スポーツ 振興課
15	第一警備スポーツセンター戸畑 (浅生スポーツセンター)	戸畑スポーツ文化ランドデザイン ・(株) ルネサンス ・(株) 日本施設協会	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日	B	215 ～ 231	スポーツ 振興課
16	文化記念・曾根臨海公園スポーツ施設 ・文化記念プール ・文化記念庭球場 ・曾根臨海運動場	総合緑地建設(株)	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日	A	232 ～ 244	スポーツ 振興課